

ホームID	ホーム名		法人名			評価日		
2850	グランフォレスト神戸六甲		(株)フィルケア			H29.1.26		
評価機関	特定非営利活動法人福祉経営ネットワーク					H29.2.7		
<b>評価結果</b>								
スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	B	B	2.3.4	A	A	6.2.1	A	A
1.1.2	B	B	2.3.5	A	A	6.2.2	A	A
1.1.3	A	A	2.3.6	A	A	6.2.3	A	A
1.1.4	A	A	2.3.7	A	B	6.2.4	A	A
1.2.1	A	A	2.3.8	B	非該当	6.2.5	A	A
1.2.2	B	A	2.3.9	A	A	6.2.6	A	A
1.2.3	A	A	2.3.10	A	A	6.2.7	A	A
1.3.1	A	A	2.3.11	A	A	6.2.8	A	B
1.3.2	A	A	2.4.1	A	C	6.2.9	A	A
1.3.3	A	A	2.4.2	A	A	6.3.1	A	B
1.4.1	B	B	2.4.3	A	A	6.3.2	A	A
1.4.2	A	A	2.4.4	A	A	6.3.3	A	C
1.4.3	A	A	2.4.5	A	A	7.1.1	A	A
1.4.4	B	B	2.4.6	A	B	7.1.2	A	A
1.4.5	B	B	3.1.1	A	A	7.2.1	A	A
1.4.6	B	A	3.1.2	A	A	7.3.1	A	B
1.4.7	B	A	3.1.3	B	B	7.3.2	A	A
1.4.8	B	B	3.1.4	A	A	7.3.3	A	A
1.5.1	A	A	3.1.5	非該当	非該当	7.3.4	A	A
1.5.2	A	A	3.1.6	B	A	7.4.1	A	A
1.5.3	A	A	3.1.7	A	A	7.4.2	A	A
2.1.1	A	A	4.1.1	A	A	7.4.3	A	A
2.1.2	B	C	4.1.2	C	B	7.4.4	A	B
2.2.1	A	A	4.1.3	A	A	7.4.5	A	B
2.2.2	A	A	4.1.4	A	A	7.5.1	A	C
2.2.3	A	A	4.2.1	A	A	7.5.2	A	A
2.2.4	A	A	4.2.2	A	A	7.5.3	A	A
2.2.5	B	A	5.1.1	A	B	7.5.4	A	A
2.2.6	A	A	5.1.2	A	C	7.5.5	A	B
2.2.7	A	A	5.2.1	A	B	7.5.6	A	A
2.2.8	A	A	5.2.2	A	A	7.5.7	A	A
2.2.9	A	A	5.2.3	A	A	7.6.1	A	A
2.2.10	A	A	5.2.4	A	B	7.6.2	A	A
2.2.11	A	A	5.2.5	A	A	7.6.3	A	A
2.3.1	B	B	6.1.1	A	A			
2.3.2	B	B	6.1.2	B	A			
2.3.3	B	B	6.1.3	B	A			

## 【評価機関の所見】

### 1. 優れた取り組みと思われる点

スケール	所見
1-5-1	入居者の権利擁護に関する職員の意識向上を図る取り組みが行われている。接遇・マナー、プライバシー保護の取り組み、尊厳・人権・虐待防止等をテーマとした内部研修を実施している。研修では個人ワークシートで各職員がワークし、それをもとにディスカッションを行っている。一方的に講義を受ける座学でなく、職員が考え、ディスカッションを通じて相互に気づきを得る効果的な研修を実施し、職員の意識を高めている。
2-4-3	入居者が安全・安心に生活を送れるよう事故防止のための取り組みが行われている。事故対策委員会を設置し、毎月職員から出されるヒヤリハット報告を集計し、発生時間、発生場所、職員の連携不足、観察力不足、環境未整備、決定事項の不履行等の要因等分析と評価を行っている。その結果から事故の多い入居者への対応や集中する時間帯に職員の配置を充実させる等、改善策を協議し事故予防に取り組んでいる。
4-1-4	入居者の要望に応じた外部サービスを導入しており、月2回の理美容に加え季節の変わり目に行う衣類販売、新聞・乳酸菌飲料の配達、菓子類の常設販売も行っている。さらに、入居者の要望に応じて生活用品や食料の個別配送を取り入れるなど、これまでの生活スタイルを入居後も大切に、積極的に入居者の生活の継続性や快適性を支援できるよう努めている。
7-6-1	協力医療機関2カ所と協力歯科医療機関1カ所と協力契約を締結し、通院や入院、緊急時の対応など、入居者の医療受診環境の確保に努めている。さらに、入居者が使用している訪問医療機関7カ所に対して、看護師による入居者の健康状態を記した健康情報提供書を毎月送付し情報を共有している。このように近隣の医療機関と密に連携しながら入居者の健康維持・管理を図っている。

### 2. さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点

スケール	所見
2-1-2	ホーム全体の年度目標・基本方針を明確にし、それにもとづき各業務部門ごとに、活動目標やサービス向上のための課題等を定めた事業計画の策定が求められる。計画を策定することで、ホームの目標や課題が明確になるとともに、職員の意識統一が図られ、それぞれの役割も確認できることにつながる。また、計画を策定後は月・半期等定期的に進捗状況を確認し、年度終了後は総括を行い、次年度の計画に反映するよう検討されたい。
2-4-1	入居者からの金品授受については、廊下の掲示板に辞退する旨の文書を掲示して、入居者および職員に周知を図っている。しかし、辞退する際の入居者への伝え方や辞退することで入居者との関係性を損なうことから受け取った場合の対応等について、明文化したマニュアルがない。マニュアルの整備と職員研修やミーティング等を通じて、職員に周知を図ることが必要であり、ホームとしての取り組みに期待したい。
5-1-2	介護居室の入居者には食事量のチェックを行っているが、一般居室の入居者の残量チェックは行っていない。また、日々の食事に対する入居者の意見は年2回開催の運営懇談会で聞き取っているが、食事アンケートなどの嗜好調査は実施していない。入居者にとって食事は最大の楽しみであり、毎月開催の食事委員会に入居者代表が参加して食事アンケートを行うなど、さらなる要望の把握に努められたい。
7-5-1	入居者の高齢化や重篤化により身体の状態にもさまざまな変化が生じることがある。現在、入居者の状況に応じて、体位交換やエアーマットの使用により褥瘡予防に取り組んでいる。しかしながら、褥瘡の予防やその対応についてのマニュアルは用意されていない。具体的な業務の進め方を記した褥瘡マニュアルにもとづき標準化が図れるよう、マニュアルの作成に早急に取り組まれたい。